

日本大学松戸歯学部

## 研究実施における情報公開 (松戸歯学部単独研究)

### 研究の名称；

日本大学松戸歯学部付属病院におけるスタットコール要請の現況と分析について  
(承認番号 EC17-008)

研究機関・講座； 日本大学松戸歯学部・歯科麻酔学講座

研究責任者； 教授・渋谷 鑛

研究期間；平成 29 年 9 月 8 日 ～ 平成 34 年 9 月 7 日

### 1. 研究対象者

本付属病院にて院内緊急コール（スタットコール）を要請された方

### 2. 研究目的・意義

歯科治療中に発生する全身的偶発症は、一般的に既往のない患者に予期し得ぬ状況が出現する場合と患者の全身的基礎疾患が急性増悪した場合の 2 つに大別され、既往歴の有無にかかわらず、その発生を予期することは困難です。処置中の患者の容態急変に対して迅速かつ適切な対応をすることは担当医にとって、必要とされる基本的な医学的知識・技術です。しかし実際に、その場面に遭遇すると救急対応に慣れていない歯科医師にとっては混乱を招きやすいです。その結果、処置が遅れ患者の容態をさらに悪化させてしまう可能性も懸念されます。

当院では緊急事態発生時にスタットコール要請を導入しています。スタットコールは医師、歯科麻酔科医、看護師らが直ちに現場に向かい、適切な処置や対応を行うシステムです。スタットコールを要請した場合、アクシデントレポートを病院管理課に提出し、情報を把握・共有することになっています。しかしながら、アクシデントレポートの内容についておおまかに把握はできるものの（年齢、性別など）、要約の書き方には個人差があり、基礎疾患の有無や局所麻酔薬の使用経験の有無など詳細が不明です。アクシデントレポートと対象者の診療録の情報から詳細な情報を得て、当院でスタットコール要請された事例について経時的に分析し、各事例の特性を把握するとともに、それらの事例に対してどのような処置を施したのかについても検討することで傾向や対策を考えることができ、今後の緊急時の対策にさらに役立つと考えられます。

### 3. 方法

当院におけるスタットコール要請があった事例について、対象者の診療録と病院管理課に提出されたアクシデントレポートをもとに対象者の年齢、性別、生年月日、既往歴の有無、常用薬の有無、発生場所、発生時期、局所麻酔薬使用の有無および使用経験の有無、発生状況、具体的な症状、対処法、帰宅までの経過、帰宅手段について検討します。

### 4. 研究に利用する試料・情報等

情報：診療録（年齢、性別、生年月日、既往歴の有無、常用薬の有無、発生場所、発生時期、局所麻酔薬使用の有無および使用経験の有無、発生状況、具体的な症状、対処法、帰宅までの経過、帰宅手段）、  
アクシデントレポート

### 5. お問い合わせ先

本研究は、倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした試料・情報等には匿名化処理を行い安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。研究の詳細をお知りになりたい場合は、下記までお問い合わせください。他の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書等を閲覧することが出来ます。

なお、研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究で利用して欲しくない」と思われた場合にも、その旨をご連絡下さい。ご了承いただけない場合には研究対象といたしません。また、その場合でもご自身に不利益が生じることはありません。

### <お問い合わせ先>

研究責任者：日本大学松戸歯学部・歯科麻酔学講座・教授・渋谷 鑛

電話番号： 047-360-9439

-----以上